



(森町病院友の会代表：高野一利さん)

静岡県は2000年(平成12年)から減少に転じています。特に静岡県の山間部に位置する市町ではその減少幅が大きくなっています。

県西部の山間部に位置する森町もその一つ。

森町の人口は、

・2000年(平成12年)4月 21,374人

でしたが、昨年、

・2020年(令和2年)4月 18,142人(△3,232人 △15.1%)

となり、その20年後は、

・2040年(令和22年)13,684人

・2020年(令和2年)比較(△4,458人 △24.6%)

と想定されています。

これに伴い、高齢化率も上昇しています。

2000年(平成12年)24.1% →2020年(令和2年)33.9%

→2040年(令和22年)42.5%

人口減少、高齢化率の上昇が起こると、いろいろな問題が起こりますが、その一つに病院の問題があります。

住民が体調不良の時、どこの病院で診察を受ければいいのか？

静岡県の西部山間地に位置する森町には10年前から地域医療に関し、積極的に活動をしているボランティア団体(森町病院友の会)があります。

昨年2020年(令和2年)10月7日(水)に森町文化会館「ミキホール」を訪問しました。

活動10年目を迎えた「森町病院友の会」会長である

高野(たかの)一利さん(66歳)にお会いし取材するためです。

高野一利さんは、森町病院友の会の会長を10年間続けておられます。

森町病院友の会は2010年(平成22年)9月に下記趣旨により設立されました。

- ・森町病院は町民と近隣地域住民の病院として必要不可欠であり、存続させる。
- ・そのために町民一人一人が医療に関し意識・知識を高め、森町病院を積極的に利用する。
- ・かつ森町病院と住民の架け橋となって住民への啓発を行うボランティア活動を中心に行う。

「なぜ、森町病院友の会に関わったのですか。」とお尋ねすると、11年前、静岡市で勤めていた会社を辞めて地元(森町)に帰ってきた時に、知人から声をかけられ、活動趣旨に共鳴・共感し参加したとのことでした。



(2021年1月森町文化会館で開催された森町病院友の会役員会)

森町病院友の会は、事務局を森町病院内に置き、連携先の森町病院院長他職員の方々や森町役場保健福祉課の職員の方々にご参加をいただき、9人(66歳～88歳)からなる役員会を月一回開催し、運営をしています。

会員は現在180名(設立当初230名)で、年会費1,000円で活動を行っています。

今年(令和3年)1月15日に開催された役員会では森町病院事務局長に出席いただき、

- ・2020年度の活動報告
- ・来年(2021年度)活動予定と予算
- ・森町病院のエレベータホール啓発用掲示板のリニューアル等を検討しました。



(巡回診療送迎支援の様子)

(巡回診療支援のチラシ)

- 森町病院友の会の活動の具体的内容としては、
- ・年間活動計画を策定して年1回定期総会を開催し、年度の方針を決める。
 - ・6地区別の地域懇談会を年4回開催し、病院と行政のスタッフを交え、地域住民と意見交換を行い地域住民への啓発を行う。(6地区＝森・飯田・三倉・天方・園田・一宮)
 - ・医療空白地域である三倉地区では、家庭医療クリニックが巡回診療を行っている。その送迎を社会福祉協議会と連携して支援する。
 - ・県内で地域医療を育む活動をしている団体と地域医療シンポジウムの独自開催をする。また、他団体との交流を深め県内全域に市民活動の輪を広げる。県内地域医療活動団体の地域。(島田・袋井・掛川・森・御前崎・磐田・菊川・牧之原・

吉田・浜松・藤枝)

- ・今年度はコロナ禍で地域懇談会が開催出来なかったので、医療に関するDVDを森町病院友の会会員に視聴していただいた。
- などです。



(一宮地区地域懇談会の様子①)



(一宮地区地域懇談会の様子②)

2015年(平成27年)5月には一宮地区で、地区懇談会を以下のような要領で開催しました。

- ・場所 森町一宮総合センター
- ・講演 認知症サポーター養成講座
「認知症を知ろう」
～私のために 私大切な人のために～
- ・講師 静岡県認知症キャラバンメイト
今村綾子氏
- ・参加人数 33名

地域懇談会に参加した地域住民の方は以下のようなコメントをしておられます。

(Aさん)

「昨年まで、義父の介護をしていましたが、お話を伺った内容が認知症という病気であることを知りました。相手の立場になりこれからは介護をしていきます。」

(Bさん)

「認知症は脳の病気であると知り、人権を守る意味でも今後対人への配慮、言動等気を付けていきます。」

(Cさん)

「わかりやすく、丁寧に教えていただき、ありがとうございました。」



(関係者 記念撮影)

(2016年3月医師の案内で診察室を視察する川勝知事)

2016年(平成28年)3月には、移動知事室で川勝知事の訪問を受けました。高野会長が森町病院友の会の活動趣旨と活動内容を「地域課題として、2015年(平成27年)4月時点で高齢化率が30.2%に達し、高齢者のみ世帯や高齢者独居等が顕著となっています。地域包括ケアシステムの構築に向け、行政、公立森町病院等の取組とともに、住民の意識醸成も重要です。「森町病院友の会」の活動には期待が寄せられ、今後とも自助・共助・公助の精神を広めていきたい。」と説明し、その後意見交換を行い、川勝知事からは、「病院と地域を結ぶ懸け橋で、モデルケースでもあり、県としても応援していきたい。」

とコメントをいただきました。

11年目を迎えた「森町病院友の会」の今後の課題として、高野一利会長は以下を挙げられています。

- ・コロナ禍のため、一昨年(2019年)12月から、地域懇談会等の主要活動ができていない。コロナ禍の早い収束を祈るばかりです。
- ・10年の活動により、医療・福祉に住民が関心を持ってきている。高齢者中心となりがちであるが、幅広い年齢層にも関わり合いながら活動していきたい。



写真9

冒頭で人口減少と高齢化に関し説明しましたが、このまま人口減少と高齢化が進むと、今は森町の山間部の問題ですが、今後は袋井市や磐田市の市街地でも同様のことが発生してくる可能性があります。

病院は、今後更に「経営収支」に関し厳しい姿勢をとり、赤字病院は黒字病院に吸収され、ますます地域住民と乖離し、住民は病気に関して受診ができなくなる可能性が大いにあるからです。

その点、森町病院を地元に残そうと、森町病院と地域住民とのかけ橋を目指す森町病院友の会の活動は先駆的であり、地域住民にとって意義深いものと考えます。

高野一利さん、春間近です。趣味の花壇を良く手入れし、きれいな花をたくさん咲かせてください。森町病院友の会も今後「活動の輪(花)」をさらに大きく咲かせ、活動趣旨を具現化されることを祈念いたします。

森町病院友の会の活動に関するお問合せは以下までお願いいたします。

高野一利さん(携帯=090-1625-8909)

参考資料

- ・「令和2年度静岡県高齢者福祉行政の基礎調査」
- ・「森町人口統計」
- ・日本医師会、地域別統計

取材: 磐田・周智地区担当 生きがい特派員 戸田孝)

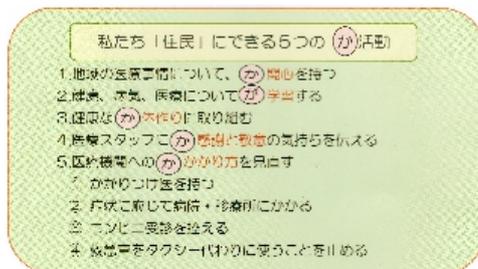


写真10